社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和03年03月31日

計画の名称	津市社会資本総合整備計画(津市地域住宅計画)		
計画の期間	平成２８年度　～　令和０２年度　(5年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	津市		
計画の目標	『津市営住宅において、既存ストックの有効活用と住環境を向上するため、津市公営住宅等長寿命化計画に基づいた適正な改善を実施する。』 『特定空家等の除却を推進するために、該当する物件の除却を実施する所有者に対し補助を行う』		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	232	A	232	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（Ｈ２８当初）		（Ｒ２末）
1	当計画期間内における津市公営住宅等長寿命化計画の達成率を５３％(Ｈ２８年度)から１００％(Ｒ２年度)に増加する。			
	当計画期間内における津市公営住宅等長寿命化計画の達成率の増加 （達成率）＝（改善済み戸数）÷（津市公営住宅等長寿命化計画に定める事業予定戸数）	53%	%	100%
2	当計画期間内において、除却すべき民間の不良住宅の除却の達成率を０％(Ｈ２８年度)から１００％(Ｈ３１年度)に増加する。			
	当計画期間内における民間の不良住宅の除却の達成率の増加 （達成率）＝（除却戸数）÷（除却すべき戸数）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000296271

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	津市	直接	津市	－	－	公営住宅等ストック総合改善事業（Ａ－１）	外壁改修・屋上防水等　藤方団地３号館他(１８９戸程度)	津市	■	■	■	■	■	154	－	策定済
	A15-002	住宅	一般	津市	直接	津市	－	－	公営住宅等ストック総合改善事業（Ａ－１）	次期津市公営住宅等長寿命化計画策定	津市				■		7		－
	A15-003	住宅	一般	津市	直接	津市	－	－	住宅地区改良事業等（改良住宅ストック総合改善事業）（Ａ－２）	外壁改修・屋上防水　南阿漕１号館(４０戸)	津市	■					27	－	策定済
	A15-004	住宅	一般	津市	直接	津市	－	－	住宅地区改良事業等（改良住宅ストック総合改善事業）（Ａ－２）	外壁改修・屋上防水　阿漕１号館(３２戸)	津市				■		35	－	策定済
	A15-005	住宅	一般	津市	直接	津市	－	－	住宅地区改良事業等（改善推進事業）（Ａ－４）	次期津市公営住宅等長寿命化計画策定	津市				■		4		－

案件番号：　0000296271

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-006	住宅	一般	津市	間接	津市	－	－	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業）（Ａ－３）	不良住宅除却（民間住宅１３戸程度）	津市		■	■	■		5	－	－
											小計						232		
											合計						232		

案件番号： 0000296271

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
津市にて実施	計画期間内の全事業終了後（令和3年3月）
	公表の方法 津市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・市内の公営住宅において、外壁等の改善により長寿命化が図られ、既存ストックの有効活用と住環境が向上した。 ・不良住宅の除却を行うことができたため、空き家周辺の安全性が確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

今後も市内市営住宅において、外壁等の改善により長寿命化を図り、既存ストックの有効活用を行う。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	
2			
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	